

敷地平面レイアウトプラン比較表

敷地内の平面レイアウトプランについて、A案・B案を作成し、以下の通り整理した。

		A案	B案
概要		建物を鳥海山の正面に配置した場合	建物を日沿道側に寄せた場合
平面図			
施設の視認性	日沿道	◎ 建物の東面（多目的広場側）西面（駐車場側）の両面とも建物の正面となる配置のため、酒田方面からも秋田方面からもほとんど目を逸らすことなく駐車場や建物の顔が見え、視認性が高いといえる。	○ 日沿道からは駐車場・広場が視認しづらく、建物の正面が見えない配置となるため、休憩施設だということ認識しづらい可能性がある。
	国道345号	◎ 広場は建物の陰に隠れるが、駐車場が視認しやすく、建物の正面が見えやすい。	○ 北西からのアクセスの場合建物が見えにくいですが、駐車場の視認性が高い。
駐車場の安全性	車両動線	◎ 大型車との動線分離が可能であり、小型車及び自動二輪車等の安全性を確保できる。	○ 小型車駐車場の動線が長く、駐車しやすい面で課題がある。
	歩行者動線	◎ 小型車利用者は大型車駐車場を通らず、交通量の多い車両動線を横断することなく、建物にアプローチできるため、安全性が高い。	△ 大型車利用者から建物への動線がA案と比べ短いですが、小型車利用者は交通量の多い車両動線を必ず横断しなければならず、安全性に不安がある。
施設の利便性	利用者動線	◎ 建物までの距離が近い位置に小型車駐車場をまとめて配置しているため、駐車しやすい・建物へのアクセスのどちらも利便性が高いといえる。自転車専用道・歩行者専用道への動線が分かりやすく、安全性が高い。	○ 歩道が直線状となり、建物へのアプローチがしやすいが、小型車駐車場の南東の端からは建物への動線が長くなるため、利便性が低いといえる。自転車専用道・歩行者専用道への動線が分かりづらく、大型車両の動線に近接しているため、安全性に不安がある。
	管理者動線	○ 小型車駐車場を通り管理者用駐車場へアクセスするため、利用者動線と一部交差してしまう可能性があるが、1列の駐車マスを確保でき、駐車・搬入のしやすいレイアウトである。	○ 利用者動線とは分離した動線となるが、1列の駐車マスを確保できず、建物と反対向きの駐車マスにおける搬入のしにくさに課題がある。
建物と屋外施設・屋外空間との位置関係		○ 駐車場からは広場が視認できないが、広場が建物の北東面すべてに接しており、建物中央の情報コーナーから広場へアクセスできるため、一体的な利用が可能である。また、正面に鳥海山が位置しているため、広場・2階・展望テラスからの眺望に有利である。	○ 駐車場から広場へのアクセス性は良いが、建物と広場の一体的な利用がしづらい。また、広場からは正面からの鳥海山の眺望が確保できるが、建物から鳥海山を見るためには目線を振らなければならない。

※ ◎：優れる ○：普通 △：劣る